

令和8年度

事業計画

社会福祉法人 勝山市社会福祉協議会

(1101)法人運営事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	法人運営事業	法人運営事業	法人運営全般	第1層(全市)
収入(円)	会費	寄附金	参加費	負担金収入	受取利息
	3,200,000	2,300,000	175,000	26,000	300,000
	繰入金収入				計
	10,816,000				16,817,000
支出(円)	人件費	事業費	事務費	その他	計
	8,622,000	1,863,000	814,000	4,166,000	15,465,000
事業概要	予算・決算・補正予算の決議、法人運営				
事業計画	①毎月会長に収支報告書の提出 ②事業収入の安定化 ③事業経営の透明性の確保 ④地域福祉活動計画の策定、⑤役職員向けセミナーの開催 ⑥職員の資質向上を目的とした研修の実施。				
事業目標	経営基盤の強化を図るとともに、福祉サービスの向上を図る。また、住民や、福祉関係者等と共に地域の福祉課題・生活課題の解決に取り組む。地域福祉活動計画策定準備として役職員での勉強会を開催し、勝山市に合った計画の策定を行う。				
見込み成果	①速やかな経営状況の判断 ②支援を必要とする方に適当な福祉サービスの提供 ③地域でいつまでも生活をしていくことができる地域づくり				
R7振り返り (課題)	地域福祉活動計画の足掛かりとして、3回のホワイトセミナーを開き、10地区社協の小地域福祉活動計画の策定をおこなった。また、喫茶事業の経営、基金の運営について、別途委員会を開催し検討した。				

(1102)退職積立金事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	法人運営事業	退職積立金事業	退職積立金事業	第1層(全市)
収入(円)	各階層より	その他の収入	退職預け金差益		計
	5,293,000	12,322,000	5,902,000		23,517,000
支出(円)	退職給付預け金	退職給付支出			計
	5,293,000	18,224,000			23,517,000
事業概要	全国社会福祉協議会が運営する「全国社会福祉団体職員退職手当積立基金」に加入し、退職金として積み立てる				
事業計画	全国社会福祉団体職員退職手当積立基金 掛け金を納付する 掛け金 5,293,000円 退職者1名に対し、退職金を支払う				
事業目標	事務処理を円滑に行う				
見込み成果	安心して働き続けられる環境を提供できる				
R7振り返り (課題)	全国社会福祉協議会が運営する「全国社会福祉団体職員退職手当積立基金」に加入し、退職金の積み立てをおこなった。定年延長時の退職金の扱いについて				

(1103)社会福祉事業基金運営事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	法人運営事業	社会福祉事業基金運営事業	社会福祉事業基金運営	第1層(全市)
収入(円)	寄附金	受取利息			計
	50,000	1,200,000			1,250,000
支出(円)	社・基金積立金	法人運営事業へ			計
	50,000	1,200,000			1,250,000
事業概要	社会福祉事業寄附金の受け入れ、基金の管理・運用				
事業計画	社会福祉事業寄附金 受け入れ 5件 50,000円				
事業目標	安定的な収益体制の構築、金融商品の金利が上昇してきており、債券等への投資を行い利息の収入の安定に努める。また寄付者の意思に沿った有効的な利用の検討				
見込み成果	寄付者の意向を活かせる基金の活用				
R7振り返り (課題)	基金の運営について、委員会を開き公債等への投資を模索した。				

(1104)ボランティア基金運営事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	法人運営事業	ボランティア基金運営事業	ボランティア基金運営	第1層(全市)
収入(円)	寄附金収入	受取利息			計
	3,000	20,000			23,000
支出(円)	ボ・基金積立金	法人運営事業へ			計
	3,000	20,000			23,000
事業概要	ボランティア基金寄附金の受け入れ、基金の管理・運用				
事業計画	ボランティア基金受け入れ 1件 3,000円				
事業目標	安定的な収益体制の構築、金融商品の金利が上昇してきており、債券等への投資を行い収入の安定に努める。また寄付者の意思に沿った有効的な利用の検討				
見込み成果	寄付者の意向を活かせる基金の活用				
R7振り返り (課題)	金利はあがってきたが、原資を増やしていない状態である。基金の有効的な利用について更に検討が必要。				

(1201)地区社協活動事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	地域福祉推進事業	地区社協活動事業	地区社協事業	第3層(地区社協)
収入(円)	市補助金				計
	4,415,000				4,415,000
支出(円)	人件費	事業費	助成金		計
	0	0	4,415,000		4,415,000
事業概要	住み慣れた地域でいつまでも暮らすことを目的に、小地域での身近な福祉活動拠点としての役割を持ち、きめ細かな福祉を展開する				
事業計画	まちづくり会館、コミュニティセンター単位を1地区社協として、会館やセンターを拠点に地域福祉活動を推進する。10地区に地区社協が設置されているが、それぞれの地域の特性に応じ、柔軟に事業を展開していく。市社協はその後方支援にあたる小地域福祉活動計画の確認。 地域福祉活動計画の策定				
事業目標	①月1回のコーディネーター会議の開催(各地区が開催を持ち回りする) ②地区や、地区社協からの相談支援(同行支援もあり) ③地区や地区社協の要請に応じて、各種研修会の開催 ④市社協職員の地区担当制を実施				
見込み成果	後方支援、伴走型支援を続けることで、地域全体の問題解決力の底上げが期待できる。地域での福祉の拠点を強固にし、地域課題を地域で話し合い、解決していくことができる。市社協全体で地域に関わることができ、職種に関わらず地域福祉推進に取り組むことができる				
R7振り返り (課題)	地区別担当制により、各地区社協活動をより近くで体感し、地域の実情を知ることができた。また、今までの活動の整理や見直しを行うため、小地域福祉活動計画を策定した。				

(1202)給食サービス事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	地域福祉推進事業	給食サービス事業	給食サービス	第3層(地区社協)
収入(円)	市受託金	利用者負担金			計
	3,339,000	1,325,000			4,664,000
支出(円)	人件費	事業費	助成金		計
	600,000	884,000	3,180,000		4,664,000
事業概要	65歳以上の①一人暮らし②高齢者のみの世帯③高齢者と障害者のみの世帯で調理が困難で見守りが必要な人に対し、各地区社協ごとに給食サービスを提供する				
事業計画	地区社協を中心に事業を実施する。市社協はコーディネータの相談役やボランティア活動者に必要な研修の実施。市の受託事業に当てはまらない方にも提供できるような仕組みづくり。生活支援体制整備事業の導入に伴う給食サービスの在り方、活動等の研究 必要に応じて各地区に制度説明を行い、必要としている高齢者への利用につなげる				
	地区社協名	実施予定日	協力者		
	勝山(A班)	毎月1・3木曜日	いずみの会(ボランティア団体)		
	勝山(B班)	毎月2・4木曜日	いずみの会(ボランティア団体)		
	平泉寺	毎月2・4火曜日	個人ボランティア、さわらび会等、地元業者		
	猪野瀬	毎月2・4土曜日	猪野瀬地区給食サービスボランティア(ボランティア団体)		
	遅羽	毎月1・3木曜日	さわらび会、縄文の里		
	村岡	毎月2・4火曜日	さわらび会、縄文の里		
	野向	毎月1・3土曜日	さわらび会		
	北谷	毎月1・3土曜日	北谷コミュニティセンターよろっさ		
	荒土	毎月1・3木曜日	さわらび会		
	鹿谷	毎月1・3金曜日	地元業者(魚屋)、個人ボランティア、さわらび会等		
	北郷	毎月1・3水曜日	縄文の里		
	事業目標	感染症対策を施し、手作り弁当の継続を図る。事業の目的の理解をすすめ、利用者の拡大、作り手発掘			
見込み成果	民生委員による定期的な見守りの一環。ボランティアの生きがいづくり。見守りが必要な方の発掘。広域的なサービスの提供。				
R7振り返り(課題)	利用者が増えすぎると、作り手(ボランティア)の限界により利用者数を調整せざるを得ない状況が訪れてしまう。作り手を増やそうにも、既に他の地域活動を行っているケースが多く増えにくい。それぞれが活動するのではなく、給食調理ボランティア、民生委員、地区社協が給食サービスについて互いに理解し、必要な方に行き届くように意見のすり合わせが必要である。				

(1204)地域福祉救援活動事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	地域福祉推進事業	福祉救援活動事業	福祉救援活動事業	第1層(全市)
収入(円)	共同募金	前期繰越			計
	150,000	292,000			442,000
支出(円)	事業費	事務費			計
	174,000	268,000			442,000
事業概要	災害に備えた研修への参加。また、災害発生時は災害対応のための資金調達や災害ボランティアセンターの立上げ・運営、さらには職員を現地に派遣する				
事業計画	勝山市災害ボランティアセンター連絡会を活用し、災害対策のための研修や訓練を積み上げる。SNSの活用、いち早い情報伝達方法等を常に検討し、災害に備える。災害が起きても事業を継続することができるよう、BCP(事業継続計画)の策定 近隣社協(大野市永平寺町)との連携				
事業目標	被災地への派遣。 災害ボランティアセンター設置運営訓練の実施。災害ボランティアセンター運営ガイドラインの周知、災害ボランティアコーディネータの養成 BCP(事業継続計画)策定				
見込み成果	運営ガイドラインに沿って繰り返し訓練を行うことで、有事に備えられる。SNS等を活用することで、スムーズな対応が期待できる。また、勝山市、青年会議所、ライオンズクラブと協定を通して災害時の支援活動を迅速かつ効果的に進めることができる				
R7振り返り (課題)	勝山市災害ボランティアセンター連絡会の開催を2回実施したが、災害ボランティアセンター運営マニュアルの見直しなどの事業の実施がなかった。				

(1207)地域ふれあいサロン事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	地域福祉推進事業	地域ふれあいサロン事業	地域ふれあいサロン事業	第3層(地区社協)
収入(円)	市受託金				計
	4,698,000				4,698,000
支出(円)	人件費	事業費	助成金		計
	473,000	328,000	3,897,000		4,698,000
事業概要	高齢者の生きがいや社会参加、健康づくり、閉じこもり防止を目的に集まれる場所の提供				
事業計画	地区社協若しくは集落単位、近隣住民で地域特性を活かしながら、サロンを実施する				
事業目標	楽しさ、生きがい、社会参加、見守り・見守られる場の提供				
見込み成果	地域の見守りの場、フレイル予防としての効果が期待できる				
R7振り返り (課題)	本年度も、ニュースポーツのモルックがさかんに行われ、これにより集まる機会が増え単独でモルックのグループが出来た地域もあった。また、福祉バス利用規約が緩和したこともあり、福祉バスを利用して、市外へ出かけ研修する地域も多くみられた。通常サロンでは、レクリエーションや体操などによるフレイル予防のほか、年々巧妙化している詐欺トラブルについての講座、交通安全教室などの内容が各地で取り入れられている。				

(1208)日常生活自立支援事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	地域福祉推進事業	日常生活自立支援事業	日常生活自立支援事業	第1層(全市)
収入(円)	県社協受託金	利用料	独自事業	前期末繰越金	計
	7,515,000	1,812,000	1,000	484,000	9,812,000
支出(円)	人件費	事業費	事務費	パソコンリース料	退職積立金
	8,668,000	587,000	99,000	48,000	410,000
					計
					9,812,000
事業概要	安心して自立した生活が送れるよう、福祉サービス利用援助(手続き等)や日常的な金銭管理などを支援する。当法人が、越前信用金庫の貸金庫利用契約をし、日常的に出し入れしないような利用者の預金通帳等は貸金庫を利用し、預かる。				
事業計画	日常的な金銭管理、相談、支援。関係機関との連携。生活支援員の資質向上研修 今年度より利用料金を1500円に値上げ。最低賃金があがり、支援員の給与等を確保できないため。 サービス利用料 1時間 1500円 貸金庫利用料 1ヶ月 500円				
事業目標	本人の意思を尊重し自己決定を支援していく。他機関と連携し、本人が安心して生活できる環境をつくっていく。成年後見制度への移行についても家族や関係機関と連携し、見極め支援していく。				
見込み成果	認知症や障害があっても、判断能力に不安があっても、支援が入る事でその人らしく安心して地域で生活が出来る。				
R7振り返り(課題)	年齢が若い利用者も増えてきた。長い支援になると考えられるため、先を見通した支援をしていく必要がある。複雑な問題が絡み合った利用者も増えている。関係機関との連携を大事にしていく。				

(1209)福祉総合相談事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲																																										
	法人運営事業	地域福祉推進事業	福祉総合相談事業	福祉総合相談事業	第1層(全市)																																										
収入(円)	市受託金				計																																										
	1,508,000				1,508,000																																										
支出(円)	人件費	事業費	パソコンリース料		計																																										
	310,000	1,181,000	17,000		1,508,000																																										
事業概要	法律、労働、年金の専門相談を実施。一般相談は職員が随時対応し、専門機関につなげる																																														
事業計画	<table><tr><td>相談名</td><td>対応者名</td><td>開催曜日</td><td>予約の有無</td><td colspan="3">開催時間</td></tr><tr><td>年金・労務相談</td><td>社会保険労務士</td><td>第1水曜日</td><td>×</td><td>午前9時30分</td><td>～</td><td>午後1時</td></tr><tr><td rowspan="2">法律相談</td><td rowspan="2">弁護士</td><td>第2水曜日</td><td>○</td><td>午後1時30分</td><td>～</td><td>午後4時30分</td></tr><tr><td>第4水曜日</td><td>○</td><td>午前9時</td><td>～</td><td>午後1時</td></tr><tr><td>心配ごと相談</td><td>社協職員</td><td>月～金</td><td>×</td><td>午前9時</td><td>～</td><td>午後5時</td></tr><tr><td>夜間相談</td><td>社協職員</td><td>毎週水曜日</td><td>○</td><td>午後6時</td><td>～</td><td>午後8時</td></tr></table>							相談名	対応者名	開催曜日	予約の有無	開催時間			年金・労務相談	社会保険労務士	第1水曜日	×	午前9時30分	～	午後1時	法律相談	弁護士	第2水曜日	○	午後1時30分	～	午後4時30分	第4水曜日	○	午前9時	～	午後1時	心配ごと相談	社協職員	月～金	×	午前9時	～	午後5時	夜間相談	社協職員	毎週水曜日	○	午後6時	～	午後8時
	相談名	対応者名	開催曜日	予約の有無	開催時間																																										
	年金・労務相談	社会保険労務士	第1水曜日	×	午前9時30分	～	午後1時																																								
	法律相談	弁護士	第2水曜日	○	午後1時30分	～	午後4時30分																																								
			第4水曜日	○	午前9時	～	午後1時																																								
	心配ごと相談	社協職員	月～金	×	午前9時	～	午後5時																																								
	夜間相談	社協職員	毎週水曜日	○	午後6時	～	午後8時																																								
事業目標	総合相談窓口として、区切ることなく、あらゆる相談に対応する。受付けた事案を必要な関係機関につなげ、本人の困りごとの解決に結び付ける																																														
見込み成果	①弁護士不在の当市においては、身近で弁護士相談が受けられ、安心につながる ②相談種別を分けずに総合相談として受け、世帯の困りごとを把握、関係機関等へつなげることで、本人が安心して暮らせる ③相談を専門相談や関係機関へ結び付け解決を図る																																														
R7振り返り (課題)	市民からの相談を受け付け、専門相談や関係機関につなげることができた。 相談内容の多様化に伴い、職員の相談力のアップが必要。																																														

(1211)家族介護支援事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	地域福祉推進事業	家族介護支援事業	家族介護支援事業	第1層(全市)
収入(円)	市受託金				計
	33,000				33,000
支出(円)	事業費				計
	33,000				33,000
事業概要	介護の専門職を対象家庭に派遣し、介護の悩みや介護方法を専門職として助言する事業、虐待防止事業				
事業計画	在宅で高齢者を支える家族の負担軽減、介護疲れ、離職や虐待を防ぎ、安心して介護を続けることができるよう指導、相談を行う。				
事業目標	適切なケアの指導を行い、訪問介護を周知し在宅介護を支援する。				
見込み成果	①介護方法が学べる ②介護の専門家による相談を行うことで気持ちが楽になり、虐待防止につながる ③訪問し社協の事業、ヘルパーの仕事への理解が深まる。				
R7振り返り (課題)	介護している家族に相談したい内容を事前に聞き(おむつの選び方、交換、衣類着脱、移動方法など)在宅に適切な支援を伝え、直接的なサポートができ、在宅介護の継続ができた。介護者の立場になり、安心して介護できるよう一緒に考えるとともに、訪問介護について知るなど、事業の周知に図る。				

(1301)ボランティアセンター運営事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	ボランティア活動事業	ボランティアセンター運営事業	ボランティアセンター事業	第1層(全市)
収入(円)	県社協補助金	事業収入	チャリティ映画	受取利息	法人運営より
	33,000	5,000	100,000	2,000	264,000
					計
					404,000
支出(円)	事業費	パソコンリース料			計
	335,000	69,000			404,000
事業概要	ボランティアセンター運営委員会の運営。企画・広報部会の開催。日々、ボランティア活動団体、個人の依頼・活動相談に対応。様々な機関からの活動に対する相談対応。ボランティア活動保険の窓口となる				
事業計画	①ボランティアセンター運営委員会 全体会(年2～3回)の開催。運営委員会にはアドバイザーを設置し、適宜アドバイスを受けながら進める。詳細な事業については企画部会(年1回)、広報部会(年1回)で協議しながら進める。 ②ボランティアセンター運営委員には、勝山高校生の参加があり、高等学校との連携を図る ③ボランティアセンターキャラクター「ココドン」を使い、センターの認知度を上げる(ストラップ、ファイル、シール、付箋などの物品販売) ④チャリティー映画会の開催 ⑤インスタグラムを活用したボランティアセンターのPR				
事業目標	勝山市で暮らすあらゆる世代の「つながる力」を育んでいくために、ボランティアセンター運営委員会と共に地域を基盤としたボランティア活動等が行えるよう努める。ボランティア活動中の事故に対応するため、ボランティア活動保険の加入を勧める。また、事故が発生した時の迅速な対応に努める				
見込み成果	・勝山市内のボランティア活動(登録)者、一般市民等を対象に「ボランティア」「福祉」等についての知識や、関心をもってもらう。 ・各関係機関や幅広い世代が共に学び、地域が「つながる力」を育む事業等を企画・運営する。 ・ボランティアセンターキャラクター「ココドン」を通して勝山ボランティアセンターの周知を図る。				
R7振り返り(課題)	チャリティー映画会では、会場の寒さを想定し、今年度は12月に開催した。来場者は、例年より大きな差はなかったが、今後のチャリティー映画会のあり方について、市民向けにアンケートを実施。アンケート結果をもとに運営委員と今後の開催のあり方を検討する。 また、ボランティア団体の高齢化もあり、活動の状況確認も含め、ボランティア団体向けのアンケートも実施。いただいた内容を運営委員と共にボランティアセンターとして何ができるか考えていく。				

(1302)預託配分事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	ボランティア活動事業	ボランティアセンター運営事業	預託配分事業	第1層(全市)
収入(円)	寄附金	前期繰越金			計
	30,000	120,000			150,000
支出(円)	助成金				計
	150,000				150,000
事業概要	市民からの寄付金・物品の受入、払い出し。市内で火災が発生した際に見舞金を払い出す				
事業計画	寄付金品の受入、払い出しについては、寄付者の意向に沿う				
事業目標	寄付者の意向に沿った取扱い				
見込み成果	迅速に対応することで、払い出し先のニーズに合った支援ができる				
R7振り返り (課題)	預託された物品については、各施設や介護保険事業所に向け、預託物品を必要な方へ届けることができた。また、サンカフェでのボランティア活動のために預託金を利用した。 火事見舞い1件				

(1404)福祉育成・援助活動事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	共同募金配分事業	福祉育成 援助活動事業	すこやかフェスタ	第1層(全市)
収入(円)	共同募金	前期末繰越金			計
	1,462,000	459,000			1,921,000
支出(円)	人件費	事業費	パソコンリース料		計
	160,000	1,751,000	10,000		1,921,000
事業概要	赤い羽根共同募金の助成を受けて行う事業である、すこやかフェスタを開催し、福祉や健康、地域に興味を持ってもらえる機会にする。ボランティア活動や、地域福祉活動が顕著な方を対象に、勝山市社会福祉協議会長表彰を行う。 第3回勝山市社協会長杯モルック大会を開催する。				
事業計画	すこやかフェスタ実行委員会を設置し、企画運営を行う。R8年度は10月10日(土)に会場をすこやかに戻し、開催する。すこやかフェスタの原点に立ち返る。社協や福祉を知ってもらう広報の機会と捉えて、福祉的なイベントや体験・出店などを考える。また、赤い羽根共同募金の財源で行うため、理解促進の啓発を行う。勝山市社会福祉協議会長表彰を行う。 勝山市内各地区で取り組んでいる、モルックの第3回モルック大会を開催する。 ○令和7年度に作成した、小地域福祉活動計画を地域の方に知ってもらう。更に勝山市地域福祉活動計画の策定を行う				
事業目標	幅広い世代が参加し、福祉や地域のことを身近に感じてもらう企画を考える。勝山市社会福祉協議会会長表彰は各団体より推薦をいただき、表彰委員会で決定し、表彰していく。赤い羽根共同募金が財源であることを見える化し、募金に関する理解を促進する。 モルックは年齢・性別・障害有無問わず、誰でもできるスポーツである。大会を開催することで、大会へ出るという目標ができ、地域で集まる機会が増え、心と体の健康を促進する。				
見込み成果	すこやかフェスタにおいて、様々な形で市内の幅広い世代、地区の団体、事業者が集まる。更に地域全体が活気づき、福祉や地域への関心も高まる。併せて赤い羽根共同募金への理解が深まる。 モルック大会では、勝山市内の普段交流のない世代や違う地域の方などがモルックを通じて交流の機会となり、普段の暮らしの中でのつながりに続く。				
R7振り返り (課題)	交通渋滞にならないよう、交通誘導の業者委託、臨時駐車場の確保を実施。特に大きなトラブルはなかった。また、交通指導員を配置し、歩行者の安全も確保した。開催前に急遽そばの出店がなくなり、残念だという声もあった。昔に比べて、衛生管理に関する規制も厳しくなっているため、どのようにしていくとよいか話し合いが必要。 規模が大きくなって、「福祉」を感じるというより「イベント」感が強くなってきているので、次年度は会場をすこやかに戻して開催したいと考える。 第2回のモルック大会では、ここ2年で実力のレベルの差が大きくなり、交流会ではなくなっているとの声もあった。腕前を発揮したい方と交流したい方それぞれが楽しめるような大会になるよう、運営委員の皆さんと協議が必要。モルック大会も赤い羽根共同募金を活用して実施したいと考える。				

(1405)歳末たすけあい配分金事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	共同募金配分事業	歳末たすけあい配分金事業	歳末たすけあい配分金事業	第1層(全市)
収入(円)	共同募金	前期繰越金			計
	1,885,000				1,885,000
支出(円)	事業費	配分金事業	パソコンリース料		計
	490,000	1,385,000	10,000		1,885,000
事業概要	民生委員に要援護世帯調査を依頼。準要保護世帯については教育委員会に協力を要請する。対象となる援護を要する世帯から申請を受け、個別配分の可否を委員会で審査し、可世帯に対し個別配分を行う。その他の配分先は、「歳末たすけあい配分委員会」で検討、決定される				
事業計画	配分委員会を開催(年2~3回)し、申請のあった世帯を対象に民生委員を通じて個別配分を実施する。個別配分申請においては、広く市社協広報誌でも周知を図る。歳末たすけあい募金の適切な配分方法について十分に検討していただく。また、生活困窮自立支援相談との連携を図る。社会状況の変化に合わせた配分ルールの検討。				
事業目標	あたたかい年末年始を過ごせるように支援する。表面化していないケースを拾い上げる。市民の方々からの寄付を大切に届ける				
見込み成果	援護を要する世帯の把握ができ、配分金を届けることができる。必要に応じて関係機関につなげることができる				
R7振り返り (課題)	第2回モルック大会を開催。老若男女問わず、たくさんの方に準備から参加していただいた。 令和8年度は、「歳末たすけあい募金事業」ではなく、福祉育成援助事業で行う。 個別配分は、民生委員協力のもと、援護を要する方に配分することができた。				

(1406)ボランティア活動育成事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	共同募金配分事業	ボランティア活動育成事業	ボランティア活動育成事業	第1層(全市)
収入(円)	共同募金配分金	前期末繰越金			計
	77,000	150,000			227,000
支出(円)	事業費	助成金	パソコンリース料		計
	167,000	50,000	10,000		227,000
事業概要	ボランティア活動者(登録者)等を対象にボランティア活動や地域の貢献について、学びの場を提供する				
事業計画	市内のボランティア活動者(登録者)、民生委員、市民を対象に「ボランティア研修会」を開催する。活動に直接結びつくことや、生きがい、地域の結びつきなどをテーマに行う。「ボランティア団体交流会」については、団体活動やボランティア活動を継続できるよう開催内容の検討を行う。いずれの研修もボランティアセンター運営委員会企画部会で企画する。				
事業目標	現在の活動の研鑽の場として、更なるスキルアップを目指すことができるよう、委員と検討し見合う講師を選定する。更に活動者同士が交流し、活動への意欲の向上やともに活動する顔見知りの関係となれるよう、企画していく				
見込み成果	ボランティアセンター運営委員会企画部会で話し合いを持ち、住民からの意見を反映させることができる。新たなボランティア活動者を発掘することができる。ボランティア活動者の養成、スキルアップ、ボランティア活動者同士の情報交換の場ができることで、より活動が活性化する。				
R7振り返り (課題)	県の「ボランティア体験2025」に、社協内でのイベントなどのボランティア募集を掲載した。すこやかフェスタでのこどもボランティアでは参加は多かったが、一般のボランティアは少なかった。「ボランティア＝敷居が高い、余裕がある人がするもの」の認識を持っている方にも、多様な活動の中から、自分にあった活動に取り組めるよう、ボランティア活動情報の広報活動にも力を入れていく必要がある。ボランティア研修会において、初の分科会方式で、取り組んだ。興味が重なり選ぶことに迷ったという声あり、研修会後のアンケート結果に基づいて令和8年度も企画したい。				

(1407)法外・災害援護配分金事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	共同募金配分事業	法外・災害援護 配分金事業	法外・災害援護 配分金事業	第1層(全市)
収入(円)	県共同募金	前期末繰越金			計
	30,000	3,000			33,000
支出(円)	助成金				計
	33,000				33,000
事業概要	行路者・火災被災者へ、見舞金等を渡す				
事業計画	行路者、火災被災者に見舞金を渡す				
事業目標	行路者へは、切符代などの現物支給。 火災状況を把握し、迅速に対応し火災被災者に見舞金を渡す				
見込み成果	行路者:移動費を支給し、目的を果たしてもらう。 火災被災者に見舞金を渡す				
R7振り返り (課題)	実績はなし。 火災被災者へ迅速な対応を心掛ける。				

(1408)まちなかCafé事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	共同募金配分事業	まちなかCafé 運営事業	まちなかCafé 運営事業	第1層(全市)
収入(円)	共同募金	前期末繰越金			計
	809,000	150,000			959,000
支出(円)	人件費	事業費	パソコンリース料		計
	384,000	565,000	10,000		959,000
事業概要	社会的孤立感の解消及び誰もが気軽に立ち寄れる場所として、勝山サンプラザ内に居場所を設置する。運営は「まちなかcafé運営委員会」が協議し、行う。また、市内の社会福祉法人が実施する地域貢献事業としても位置付ける。赤い羽根共同募金の配分を受ける				
事業計画	対象者に制限を設けず、月曜日～土曜日の午前10時～午後3時まで勝山サンプラザ2階に集まれる場所を開き、運営する(ただし火曜日(定休日)、日曜日は定休)。社協職員やボランティアが常駐し、来客の相談や話し相手になる。財源が赤い羽根共同募金であることもPRLし、募金への協力も呼びかける				
事業目標	誰もが気軽に立ち寄り、気楽に話や相談ができる場づくり。深刻な問題や相談は、関係機関につないでいく。赤い羽根共同募金への理解を促進する				
見込み成果	高齢者だけでなく、市民誰もが立ち寄ることのできる場として提供することで様々な生活ニーズをキャッチできる。気軽に相談できる身近な場としての定着。障害や高齢に関わらず、自立ディサービスの役割を果たすことで、社会性を保ち、介護・フレイル予防となる				
R7振り返り (課題)	午後からの利用者減に伴い、運営委員会で営業時間短縮を提案。令和7年8月中旬から時間を短縮。特に時間延長を希望する声は聞こえてはいない。サンカフェの充実。火曜日の開店もできた。				

(1409)貸出事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲																																																																			
	法人運営事業	共同募金配分事業	貸出事業	貸出事業	第1層(全市)																																																																			
収入(円)	共同募金	負担金	前期末繰越金		計																																																																			
	248,000	84,000	100,000		432,000																																																																			
支出(円)	事業費	事務費	パソコンリース料		計																																																																			
	401,000	21,000	10,000		432,000																																																																			
事業概要	赤い羽根共同募金の配分を受け、車椅子対応の福祉車両、福祉用具、介護機器、チャイルドシート、ジュニアシート、ベビーカーの貸し出しを行う。また、それらの車両や機器等の維持管理、借用者に対しての借用更新手続きなどの連絡調整を行う																																																																							
事業計画	<table><tr><th>物品名</th><th>貸出期間</th><th>利用料</th><th>更新料</th><th>備考</th></tr><tr><td>リフト付き車両（ハイエース）</td><td rowspan="2">時間単位</td><td>～10kmまで200円 以降10kmで200円ずつ加算</td><td rowspan="2">—</td><td rowspan="2">事前申請必要</td></tr><tr><td>リフト付き車両（タント）</td><td>～10kmまで100円 以降10kmで100円ずつ加算</td></tr><tr><td>車椅子（長期）</td><td>1年</td><td>1,000円</td><td>500円</td><td></td></tr><tr><td>車椅子（短期）</td><td>1ヶ月</td><td>100円</td><td>100円</td><td></td></tr><tr><td>介護用ベッド</td><td>—</td><td>新規貸し出し中止</td><td>—</td><td>更新終了</td></tr><tr><td>歩行器</td><td>1年</td><td>500円</td><td>200円</td><td></td></tr><tr><td>四点杖</td><td>1年</td><td>500円</td><td>200円</td><td></td></tr><tr><td>チャイルドシート（長期）</td><td>1年</td><td>5,000円</td><td>2,000円</td><td></td></tr><tr><td>チャイルドシート（短期）</td><td>1ヶ月</td><td>1,000円</td><td>1,000円</td><td></td></tr><tr><td>ジュニアシート（長期）</td><td>1年</td><td>5,000円</td><td>2,000円</td><td></td></tr><tr><td>ジュニアシート（短期）</td><td>1ヶ月</td><td>1,000円</td><td>1,000円</td><td></td></tr><tr><td>ベビーカー（長期）</td><td>1年</td><td>5,000円</td><td>2,000円</td><td></td></tr><tr><td>ベビーカー（短期）</td><td>1ヶ月</td><td>1,000円</td><td>1,000円</td><td></td></tr></table>					物品名	貸出期間	利用料	更新料	備考	リフト付き車両（ハイエース）	時間単位	～10kmまで200円 以降10kmで200円ずつ加算	—	事前申請必要	リフト付き車両（タント）	～10kmまで100円 以降10kmで100円ずつ加算	車椅子（長期）	1年	1,000円	500円		車椅子（短期）	1ヶ月	100円	100円		介護用ベッド	—	新規貸し出し中止	—	更新終了	歩行器	1年	500円	200円		四点杖	1年	500円	200円		チャイルドシート（長期）	1年	5,000円	2,000円		チャイルドシート（短期）	1ヶ月	1,000円	1,000円		ジュニアシート（長期）	1年	5,000円	2,000円		ジュニアシート（短期）	1ヶ月	1,000円	1,000円		ベビーカー（長期）	1年	5,000円	2,000円		ベビーカー（短期）	1ヶ月	1,000円	1,000円	
	物品名	貸出期間	利用料	更新料	備考																																																																			
	リフト付き車両（ハイエース）	時間単位	～10kmまで200円 以降10kmで200円ずつ加算	—	事前申請必要																																																																			
	リフト付き車両（タント）		～10kmまで100円 以降10kmで100円ずつ加算																																																																					
	車椅子（長期）	1年	1,000円	500円																																																																				
	車椅子（短期）	1ヶ月	100円	100円																																																																				
	介護用ベッド	—	新規貸し出し中止	—	更新終了																																																																			
	歩行器	1年	500円	200円																																																																				
	四点杖	1年	500円	200円																																																																				
	チャイルドシート（長期）	1年	5,000円	2,000円																																																																				
	チャイルドシート（短期）	1ヶ月	1,000円	1,000円																																																																				
	ジュニアシート（長期）	1年	5,000円	2,000円																																																																				
	ジュニアシート（短期）	1ヶ月	1,000円	1,000円																																																																				
	ベビーカー（長期）	1年	5,000円	2,000円																																																																				
	ベビーカー（短期）	1ヶ月	1,000円	1,000円																																																																				
事業目標	貸出機器のメンテナンスや清掃管理を適切に行い、気持ちよく利用していただく。赤い羽根共同募金の配分を受けて行う事業であることの周知に努め、赤い羽根共同募金への理解を図る。使用方法についても丁寧な説明に努め、安全に利用していただく。																																																																							
見込み成果	貸出機器の使い道には制限を設けず貸出しすることで、本人や介護（育児）者の負担が軽減され、外出の行動範囲が広がる。必要時に借りることで購入や維持の負担軽減を図ることができる。介護認定の有効期間の長期化や軽度の認定者が増えており、今後も車椅子の需要はあると思われる。																																																																							
R7振り返り（課題）	福祉車両の利用者は今年度多く、たよりなどでの周知ができているように感じた。チャイルドシートは、お盆やゴールデンウィーク時には貸出し過多になり、在庫がなく対応に苦慮した。																																																																							



(1410)福祉教育推進事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	共同募金配分事業	福祉教育推進事業	福祉教育推進事業	第1層(全市)
収入(円)	共同募金	県社協補助金	参加費	前期末繰越金	計
	450,000	100,000	4,000	117,000	671,000
支出(円)	事業費	事務費	助成金	パソコンリース料	計
	183,000	58,000	420,000	10,000	671,000
事業概要	赤い羽根共同募金の配分を受け、市内小中学校の福祉教育に助成金を交付する。学校や地域で福祉教育を推進する。小学校4年生(福祉を学ぶ学年)を対象とした「福祉学習交流会」の開催、全小中学校の訪問、各学校への講師派遣等の調整業務を行う				
事業計画	●年度初めに市内全ての小中学校を訪問し、担当教諭との福祉教育に関する打ち合わせやイメージ共有、プログラム作りを丁寧に行う ●各小中学校への助成金の配分 上限30,000円(申請方式) ●小学校4年生を対象とした「福祉学習交流会」の開催。企画はボアランティアセンター運営委員会企画部会が行う ●講師派遣、地域資源とのつなぎ、その他関係機関との調整 ●福祉教育の情報共有を図るため、取り組みの振り返りと報告書の作成を行い、活動を可視化する ●地域の部活動として、「ぼら勝」を実施				
事業目標	ふくしは「ふ:だんの、く:らしの、し:あわせ」であり、特別なことではなく、住民誰もが対象になりうる事の理解を促進する。イベント式のプログラムではなく、1年を通じてつながるプログラム編成にしていく為に、担当教諭との綿密な打ち合わせを行う。また、「障害」や「高齢」は特別なことではなく、お互いに尊敬しあえる仲間であることに気づき、誰をも排除することなく「共に生きる力」を育てる。プログラムにはできるだけ地域資源を活用し、たくさんの方々を巻き込んでいく				
見込み成果	自分も一地域住民であるとの自覚を持ち、「自分(自分達)にも何かできないか」を考えることで、自分も、他者も大切に、自己肯定感を高めることができる。また、たくさんの地域資源を知り、「助け合いながら暮らしている」ことを理解することができる				
R7振り返り(課題)	「福祉教育＝社協」という意識が定着してきているからか、市内ほとんどの学校に福祉教育で関りを持っている。各学校ごとの福祉教育の打ち合わせの際、地域の様子を伝える役割として地区社協コーディネーターと共に行った。地域の方から、様々な活動が、なんのために行われているのかを聞き、活動を身近に感じ、自分たちにできることは何かを考えるきっかけづくりとなっている。 以前、複式学級では福祉教育は難しいと考えられていたが、今年度は、複式学級においても福祉教育に取り組む学校が増えた。 次年度から実施予定の「ぼら勝」について、教育委員会や、3中学校で説明し、地域の部活動として始動する準備を実施した。				

(1411)子育て世帯支援事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	共同募金配分事業	子育て世帯支援事業	子育て世帯支援事業	第1層(全市)
収入(円)	共同募金配分	経常経費寄附金			計
	562,000	200,000			762,000
支出(円)	事業費	パソコンリース料			計
	752,000	10,000			762,000
事業概要	共同募金配分金、勝山市母子寡婦福祉連合会からの指定寄付。 日常生活において困難を抱えている家庭や、経済的に困窮・孤立化を余儀なくされている家庭等を支援する。				
事業計画	寄付食材などをひとり親世帯や気がかりな世帯へ主任児童委員等の力を借り、配りながら困りごとを聞き取る。(年3回予定)				
事業目標	対象家庭との信頼関係の構築や関係機関へつなぐ。				
見込み成果	食材配布をきっかけとして、家庭状況の困りごとや悩みごとを聞き取り関係機関につなぐ。聞き取った内容から社協が地域課題として取り組む材料となる。				
R7振り返り (課題)	主任児童委員協力のもと、食材配布を通しひとり親家庭への聞き取りを実施。聞き取った困りごとを関係機関につないだ。 申し込みが減少傾向にあるため、何が必要なのか検討する時期にきていると思われる。				

(1501)生活福祉資金貸付事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	資金貸付事業	生活福祉資金 貸付事業	生活福祉資金 貸付事業	第1層(全市)
収入(円)	県社協受託金				計
	416,000				416,000
支出(円)	人件費	事業費	パソコンリース料		計
	158,000	251,000	7,000		416,000
事業概要	低所得者や高齢者、障害者の自立した生活を経済的に支えるとともに、世帯の福祉及び社会参加の促進を図る				
事業計画	相談、受付け、審査会の開催。県社協、民生委員との連携による償還指導等を実施する。また、生活困窮者自立支援センターと連携をとりながら取り組む。				
事業目標	世帯が力をつけ、自立できる支援。職員の相談カスキルアップ				
見込み成果	単なる貸付ではなく、その世帯が力をつけて自立でき、償還につなげる				
R7振り返り (課題)	貸付の相談に対して丁寧に対応した。生活困窮者自立相談と役割を分担しながらの対応を行った。				

(1502)小口資金貸付事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業タイトル	事業展開範囲
	法人運営事業	資金貸付事業	小口福祉資金貸付事業	小口福祉資金貸付事業	第1層(全市)
収入(円)	償還金	法人運営より			計
	400,000	3,000			403,000
支出(円)	事業費	貸付金			計
	3,000	400,000			403,000
事業概要	当座の資金不足により生活が行き詰った方へ小口で一時資金を貸し付ける				
事業計画	一時資金の貸し付け限度額30,000円。保証人不要。資金借入相談により必要に応じて、資金繰りの相談を行う。必要があれば他機関との連携により支援を行う。返済が滞っている人には状況を把握し返済方法などの相談に努める				
事業目標	生活困窮に陥らない支援				
見込み成果	高金利ローンの借入が防げる。また、相談支援を行うことで他の困りごとなどの発見も行え、他機関との連携で、生活困窮に陥らない支援も行うことができる				
R7振り返り (課題)	単に貸付を行うことを目的にせず、相談に対して丁寧に対応した。生活困窮者自立相談と役割を分担しながらの対応を行った。また、「ふく福」暮らしサポート事業の活用も併せて行い、貸付だけに終わらない支援とした。				

(1503)特例貸付事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	資金貸付事業	生活福祉資金 貸付事業	生活福祉資金 貸付事業	第1層(全市)
収入(円)	県社協受託金				計
	2,250,000				2,250,000
支出(円)	人件費	事業費	事務費	パソコンリース料	計
	2,015,000	160,000	13,000	62,000	2,250,000
事業概要	令和2年3月～令和4年9月末まで行われた、生活福祉資金のコロナ特例貸付の返済が令和5年1月から始まった。返済が行われていない借受人に対し、状況把握し、償還の促しや償還猶予申請の説明などを行う。				
事業計画	コロナ特例貸付(緊急小口貸付、総合支援資金)の償還業務並びにフォローアップに、生活困窮者自立支援センターと連携をとりながら取り組む。貸付けた方全てへの生活現状調査の実施。				
事業目標	償還に至っていない借受人だけではなく、借受人全体のフォローアップを行い生活状況の把握をし、生活困窮者自立支援センターと連携しながら、今後の見通しを立てる。				
見込み成果	現在の生活状況を把握し、生活苦から脱却ができたかどうかの把握。				
R7振り返り (課題)	生活状況の把握につとめた。令和8年度には生活状況調査を実施する。				

(0501)参加支援事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	重層的支援体制整備事業	参加支援事業	参加支援事業	第1層(全市)
収入(円)	市受託金				計
	2,390,000				2,390,000
支出(円)	人件費	事業費	事務費	パソコンリース料	計
	1,637,000	416,000	268,000	69,000	2,390,000
事業概要	既存の制度では対応できない本人や世帯のニーズ等に対応するため、地域の資源などを活用し、社会とのつながりづくりに向けた支援を行う。また、関係機関連携のための研修会、当事者向けの勉強会等の実施を行う。				
事業計画	利用者のニーズや課題など丁寧に把握し、本人と支援メニューのマッチングを行う。また、新しい社会資源に働きかけたり、既存の社会資源を応用し、本人に合った支援メニューを作る				
事業目標	多様な社会参加の実現として、つながりを作り、本人にとって無理のないメニューの作成、準備				
見込み成果	社会とのつながりを持てる場を作る				
R7振り返り (課題)	令和8年度新規事業				

(0502)アウトリーチ支援事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	重層的支援体制整備事業	生活困窮者自立支援事業	生活困窮者自立相談支援事業	第1層(全市)
収入(円)	市受託金				計
	2,810,000				2,810,000
支出(円)	人件費	事業費	事務費	パソコンリース料	計
	2,258,000	258,000	269,000	25,000	2,810,000
事業概要	複数分野にまたがり、複雑化、複合化した課題を抱えている方のために必要な支援が、届いていない場合に支援を届け、継続的なかかわりを持ち、信頼関係の構築に向けた丁寧な働きかけを行う。また、支援関係者との連携を通じて、地域の状況などにかかる情報を幅広く収集する。				
事業計画	本人と直接かかわりを持ち、本人が適切な支援関係機関につなげる。また、メールやチャット等を使い定期的に働きかけを行う。				
事業目標	外に出たり、特定の人以外からの支援を受け入れることが難しい方と一人でもつながること				
見込み成果	社会参加ができるようになり、就労につながる				
R7振り返り (課題)	令和8年度新規事業				

(0601)生活困窮者自立支援事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	生活困窮者 自立支援事業	生活困窮者 自立支援事業	生活困窮者自立相談 支援事業	第1層(全市)
収入(円)	市受託金				計
	8,510,000				8,510,000
支出(円)	人件費	事業費	事務費	パソコンリース料	退職積立金
	6,458,000	781,000	889,000	51,000	331,000
支出(円)					計
					8,510,000
事業概要	生活困窮者自立支援法に基づき、生活に困っている人からの相談を受け、抱える課題を把握し、本人の気持ちに寄り添いながら自立した生活を支える。また、必要な人には計画を立てて支援を実施する。関係機関や市役所内の各部署の連携が図れるように働きかける				
事業計画	生活保護に至らないようにするために生活困窮者に対する「第2のセーフティネット」として、包括的に支援を実施する。また、生活困窮者の早期把握や見守りのための地域ネットワークの構築、働く場を広げていく				
事業目標	スモールステップにより成功体験を積み、自立に向かう支援を行う。支援調整会議・支援会議の開催にて困窮情報を関係機関などと共有する。				
見込み成果	生活に困っている方が相談しやすいように制度の周知・啓発を図る。支援会議の開催にて困窮者情報を一元化し、アウトリーチ活動を行える。				
R7振り返り (課題)	本人だけではなく、世帯で困窮しているケースや、警察に相談する案件等、様々な問題が絡み合っているケースが増えている。支援会議を活用し、他機関との連携をもっと図っていきたい。				

(0602)生活困窮者自立支援・就労準備支援事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	生活困窮者 自立支援事業	就労準備支援事業	就労準備支援事業	第1層(全市)
収入(円)	市受託金				計
	4,043,000				4,043,000
支出(円)	人件費	事業費	事務費	パソコンリース料	計
	3,180,000	363,000	431,000	69,000	4,043,000
事業概要	「社会との関わりに不安がある」、「他の人とコミュニケーションがうまくとれない」など、直ちに就労が困難な方に6カ月から1年の間、プログラムにそって、一般就労に向けた基礎能力を養いながら就労に向けた支援や就労機会の提供を行う。				
事業計画	生活保護に至らないように生活困窮者に対する「第2のセーフティネット」として、包括的に支援を実施。また、生活困窮者の早期把握や見守りのための地域ネットワークの構築、働く場を広げていくことに努める				
事業目標	1年間を期限として働くまでの土台作りを行い、就労意欲を整え就労に結びつける				
見込み成果	土台作り・成功体験を支援し、就労意欲を高め社会参加・自己実現ができるようになる				
R7振り返り (課題)	就労準備支援を開始したが、直後対象の方が体調を崩されてしまった。本人のペースに寄り添い支援していくことが大切だと感じた。研修等にも積極的に参加し、スキルアップを目指す。				

(0603)生活困窮者自立支援・家計改善支援事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	生活困窮者 自立支援事業	家計改善支援事業	家計改善支援事業	第1層(全市)
収入(円)	市受託金				計
	4,500,000				4,500,000
支出(円)	人件費	事業費	事務費	パソコンリース料	計
	3,743,000	228,000	460,000	69,000	4,500,000
事業概要	自立相談支援機関において、経済的な問題に背景がある相談者に対して家計の視点から相談支援を行う。家計改善・家計再生プランを作成し、自ら家計を管理する意欲、能力を高め、経済的困窮より脱却できるよう支援していく				
事業計画	生活保護に至らないように「第2のセーフティーネット」として生活困窮者に対して包括的な支援を実施する。また、生活困窮者の早期把握や見守りのための地域ネットワークの構築、働く場を広げていく				
事業目標	家計が見える化し、家計を管理する意欲・能力を高め、経済的困窮から脱却する				
見込み成果	収支の見直しを行うことで無駄を省き、生活を保ちながら貯蓄ができるようになる。債務を抱えた方に対しては返済計画を立てることで、借金の解消が図れる。結果、安定した生活を送れるようになる				
R7振り返り (課題)	相談の入り口は貸付のことが多く、収支が見える化し、気づきを得てもらう。滞納がある方については、関係機関に同行し、生活に無理のかからないよう助言をした。				

(0701)生活支援体制整備事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	生活支援体制整備事業	生活支援体制整備事業	生活支援体制整備事業	第1層(全市)
収入(円)	市受託金				計
	10,470,000				10,470,000
支出(円)	人件費	事業費	事務費	助成金	パソコンリース料
	1,371,000	760,000	50,000	8,220,000	69,000
	人件費	事業費	事務費	助成金	計
					10,470,000
事業概要	多様な社会において助け合う地域づくりに向けた、関係機関ネットワーク会議の開催、生活支援コーディネータの設置、地域の課題解決の場と新たなサービスを構築する。併せて、まちなかCaféを核にした支援を考える				
事業計画	1層の生活支援コーディネーターを1名配置(市社協)し、全市を対象とする。2層の生活支援コーディネーターを11名配置(地区社協コーディネーター)し、各地区単位を対象として活動する。地区社協ごとの話し合いを進めながら、研修を実施する。市全域を対象とした協議体を開催し、地域の課題出し、その対策に関係者を集めて協議する。 こども食堂などの地域の居場所づくりが促進されるよう、セミナー開催や創設に向けた相談対応による支援を行う。				
事業目標	第2層の圏域ごとに地域の課題について話し合う場を持つ(全域にて実施) 第1層協議体の開催				
見込み成果	地域の課題を我が事に捉え、前向きな話し合いや解決方法を探る。そのことを通して、行政に頼らなくても進む小地域ごとの福祉のまちづくりを目指す 地域課題に対して、社協や行政だけでなく、関係者を含めて協議することで、地域全体で課題に取り組む				
R7振り返り (課題)	各地区ごとに、課題解決に向けての取り組みが行われ、それに伴う研修会などの企画の相談支援を行った。 小地域福祉活動計画を立てたことで、地域活動の整理ができた。				

(1601)老人ホームヘルプサービス事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲			
	介護保険サービス事業	介護保険サービス事業	老人ホームヘルプ事業	老人ホームヘルプ事業	第1層(全市)			
収入(円)	介護保険	利用料	その他助成金		計			
	26,440,000	3,708,000	393,000		30,541,000			
支出(円)	人件費	事業費	事務費	拠点区分繰出し	計			
	25,457,000	2,729,000	358,000	1,997,000	30,541,000			
事業概要	介護保険法に基づくホームヘルプ事業の実施		令和8年度 ヘルパー職場内研修予定表					
事業計画	要支援・要介護認定を受けた方に対し、身体介護・生活援助の訪問介護サービスを提供する。利用者の状態に合わせて対応出来るように、認知症や介護技術など内部研修会を毎月行い、質の良いサービスの提供に努める。また、外部研修会にも参加する。		4月	・令和8年度事業所事業説明 ・倫理要綱と法令遵守について ・プライバシーの保護について ・接遇研修	参加者 全員 全員			
			5月	・勤続1～3年研修 ・感染症対策について	対象ヘルパー 全員			
				・食中毒と衛生管理について				
			6月	・認知症研修(身体拘束・虐待)	全員			
			7月	・BCP研修 机上訓練・シュミレーション ・勤続3～5年研修 勤続5年以上研修	全員 対象ヘルパー			
			9月	・防災について(ヘルパーとしての役割)	全員			
			10月	・障害研修(身体拘束・虐待)	全員			
			11月	・介護技術研修	全員			
			1月	・火災予防について	全員			
			2月	・手順書見直し	全員			
			3月	・研修報告	全員			
				・1年のまとめ(ヒヤリハット・苦情処理含む)及び反省会				
			事業目標	常時より、災害時にも意識しながら、準備・対応を行い、安定したサービスが提供できるようにする。		* 職場内研修時伝達会議も行う。		
						* 新規採用時の初任者研修及び1か月・3か月・1年研修は随時行う。 * 急遽困難事例があった場合は、随時担当ヘルパーでの個別検討会を行う。 * 個別研修の日時については、調整し、個々に知らせます。		
			見込み成果	住み慣れた地域・自宅で自分らしく暮らしていける、支援を行うことができる。				
			R7振り返り (課題)	在宅生活の意欲があっても、機能低下や家庭環境により季節入所を利用する方が増えた。新規依頼後に、急遽、入院・入所などになり、訪問に繋がらなかったり、中止・終了となる事が多かった。冬季は、雪の警報などを確認しながら、事前に、出勤メンバーや人数・訪問時間変更などのシュミレーションを行ったため問題なくサービスの提供ができた。 訪問時の利用者の体調不良時などの対応に際し、改めて緊急連絡方法の再確認を行い、緊急連絡票の再作成、ケア会議時に関係機関と緊急時の情報共有を今後提案していけると良い。				

(1602)あんしんサービス事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	介護保険サービス事業	介護保険サービス事業	老人ホームヘルプ事業	あんしんサービス事業	第1層(全市)
収入(円)	事業収入				計
	120,000				120,000
支出(円)	人件費				計
	120,000				120,000
事業概要	施設利用の方が一時帰宅されたとき、または、介護保険対象外の方や、障害サービスで認められてないサービスを希望される方に対して、30分1,000円でサービスを提供する				
事業計画	自立した日常生活を営むことができるよう援助を行うことにより総合的サービスの提供に努める、ヘルパーの質を向上させるため、質のよりよいサービス提供を行う。月1回研修会を行って行く。				
事業目標	適正なサービス提供				
見込み成果	住み慣れた家で安心して暮らせる				
R7振り返り (課題)	介護保険ではカバーしきれない病院での待機中の見守り、動物の世話、生活を支える面で細やかなサポートの提供ができた。十分に聞き取りを行い、柔軟に対応し、適切なサービスをいかに提供できるかが、課題である。				

(1701)介護予防支援事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	介護保険サービス事業	介護保険サービス事業	介護予防支援	予防ケアマネジメント	第1層(全市)
収入(円)	介護保険				計
	436,000				436,000
支出(円)	事業費				計
	436,000				436,000
事業概要	介護保険法に基づく介護予防・日常生活支援総合事業に基づく予防ケアマネジメントの実施				
事業計画	事業対象者、要介護認定にて要支援1・2と認定された方に対し、介護予防することを目指しマネジメントをする。				
事業目標	本人・家族の思いに寄り添い、介護状態にならないように予防し、地域にて自立した日常生活を送れるように支援をする。				
見込み成果	介護予防を行い、地域においてその人らしい暮らしを支援することができる				
R7振り返り (課題)	令和7年より、介護支援専門員4名体制となる。委託事業である予防給付に関する相談は少なく、包括が担当していた予防給付者が介護になった件数を受けることが多かった。新規件数としては4件ではあるが、例年並みである。				

(1702)介護給付事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	介護保険サービス事業	介護保険サービス事業	介護給付	介護給付	第1層(全市)
収入(円)	介護保険	階層区分繰入	施設整備等	その他の活動	計
	26,913,000				26,913,000
支出(円)	人件費	事業費	事務費	固定資産	拠点区分繰出し
	18,637,000	1,844,000	177,000		6,255,000
					計
					26,913,000
事業概要	介護保険法に基づき、利用者が、その有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう、利用者の選択に基づき、適切な居宅介護支援サービスを提供する				
事業計画	65歳以上で要介護状態の方、40歳～64歳で特定疾患(16種類)が原因で認定を受けた方を対象に住み慣れた地域で自立した生活を送れるようにマネジメントを実施する。				
事業目標	住み慣れた地域で自立した生活を送れるように本人・家族の思いに寄り添い、支援を行う。研修等にも積極的に参加し、様々な問題を抱えたケースにも対応できるよう、スキルを伸ばす。				
見込み成果	利用者・家族に寄り添い、その人らしい暮らしを支援することができる。多くの問題を抱えたケースに対しても、他機関と連携・協働にて対応し生活を支えることができる。市内居宅事業所内のケアマネ数が減少している為、ケアマネを探すことが大変になっている中、採用者を確保し介護を必要とする方がスムーズにケアマネジメントを受けられる				
R7振り返り(課題)	介護支援専門員1名増員にて、4名体制で事業を実施。特定事業所加算Ⅱ(1件4,210円/月)を算定したため、毎週ミーティング実施や多職種連携体制を図り、地域包括支援センターからの困難事例の受け入れを行うなど、質の高いケアマネジメントを実施した。加算算定により、一定の事業収入を確保でき、概ね安定した運営ができた。担当件数に受入余力があることから、今後も新規受け入れを行い、収益性向上、経営基盤の強化を図った。				

(1703)要介護認定調査事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	介護保険サービス事業	介護保険サービス事業	要介護認定調査事業	要介護認定調査	第1層(全市)
収入(円)	介護保険				計
	129,000				129,000
支出(円)	事業費	事務費			計
	124,000	5,000			129,000
事業概要	介護保険法に基づき、要介護認定調査対象者を調査し、市へ調査票を提出する				
事業計画	介護保険法に基づき、要介護認定調査対象者の調査を市から委託を受けて行う				
事業目標	認定調査の項目基準に基づき、公平公正に実施ができるよう、認定調査員の質の向上を図っていく				
見込み成果	研修等に積極的に参加を行い、項目基準に基づいた調査を実施できるように研鑽に努める。				
R7振り返り (課題)	認定期間が1～4年に設定され、認定調査の回数に年度ごとのばらつきがある。また、状態変化のため区分変更を行うケースも一定数みられる。				

(1801)身体障害者ホームヘルプサービス事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	障害福祉サービス事業	障害福祉サービス事業	身体障害者ホームヘルプサービス事業	身体障害者ホームヘルプサービス事業	第1層(全市)
収入(円)	自立支援給付費	利用料	受託事業		
	18,900,000	180,000	336,000		19,416,000
支出(円)	人件費	事業費	事務費	退職積立金	法人へ
	15,880,000	1,166,000	388,000	955,000	1,027,000
					19,416,000
事業概要	障害者総合支援法に基づく、訪問介護事業(居宅介護サービス、強度行動援護、同行援護、移動支援)。計画以外のサービスを希望される方を対象に「あんしんサービス(30分1,000円)」の実施				
事業計画	在宅で生活されている障害者(児)の方に個別支援計画に沿って、住み慣れた地域で安心して暮らせるように生活全般への支援を実施する。本人の特性、こだわり、生活スタイルに寄り添った支援の実施、併せて重度障害者への研修を受ける。また、内部研修会、外部研修を行い、質の向上を図り、同行援護研修修了者を増やす。				
事業目標	住み慣れた地域での生活を継続できるための寄り添い支援				
見込み成果	ヘルパー利用者の増加と利用時間の増加が見込まれる。また、利用者の自立への意欲を引き出し、本人が喜びを感じてもらえる。○同行援護資格取得者を増やし、仕事の幅を広げ、スキルを上げ、活躍の場を広げる。○移動支援を使い、余暇活動、社会参加ができる。				
R7振り返り (課題)	例年の厚さ、寒さにおいては、利用者の生活状況を考えて、ショートスティ利用を調整するケースが目立った。○利用者の高齢化に伴い、病院受診の増加や病状把握の難しさが見えた。家族や各関係機関との情報共有の重要性を改めて認識した。○障害や病状の特性、障がい状況を把握し、個々に応じた支援内容の検討、提供を行ってきた。ヘルパーと利用者の関係性には、個人差があり、相性やコミュニケーションの取り方によって、受け止め方が違うためヘルパーの配置についても配慮した。○気候、高齢化で体調変化や緊急時の対応について、連絡先を明確に提示し、速やかに対応できるよう整えることができた。				

(1802)障害者計画・相談事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	障害者福祉サービス事業	障害者福祉サービス事業	障害者計画相談支援	計画相談支援事業	第1層(全市)
収入(円)	自立支援給付	障害児給付	受託事業		計
	4,978,000	1,118,000	115,000		6,211,000
支出(円)	人件費	事業費	事務費	法人へ	計
	4,275,000	436,000	115,000	1,385,000	6,211,000
事業概要	障害児・者の自立した生活を支え、課題解決やサービス利用のケアマネジメントを行う				
事業計画	障害者(児)からの相談、インテーク、アセスメントから計画を立て、調整会議を実施し、初回計画から3か月と半年に1度のモニタリングにて計画の見直しなど適切な支援を行う				
事業目標	障害支援という長期的な支援を必要とする中で、安心して生活を送ることができるように本人の希望に沿いながら他機関やサービス提供者と連携を取る				
見込み成果	障害を持つ方が安心して生活を送ることができるようになる				
R7振り返り (課題)	住み慣れた地域で福祉サービスを使いながら、生活が送れるように本人・家族の思いに添い、支援を行った。また、高齢になり介護保険への移行の検討を始めたケースが多くなった。				

(1901)障害者相談支援事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	障害者福祉サービス事業	障害者福祉サービス事業	障害者相談支援事業	障害者生活支援センター事業	第1層(全市)
収入(円)	市受託金				計
	5,181,000				5,181,000
支出(円)	人件費	事業費	事務費	パソコンリース料	計
	4,514,000	103,000	495,000	69,000	5,181,000
事業概要	障害を持つ方が地域で暮らし続けることを目的に適切な相談と支援を行う。また、奥越障害者自立支援協議会の運営に参画し、新たな資源の開発等を行う				
事業計画	障害者(児)、障害があるかもしれない方を対象に相談、支援し関係機関との連携を図る。また、相談から探る地域課題を浮き彫りにする				
事業目標	身近に相談できる環境を作り、必要に応じて訪問する				
見込み成果	障害者(児)、または保護者の方から気軽に相談でき適切な対応につながる				
R7振り返り(課題)	住み慣れた地域で自立した生活が送れるように本人・家族の思いに寄り添い、支援を行った。 今年は病院より地域の福祉と関わりを希望するケースやひきもこりの相談件数は昨年より多かった。				



(1902)障害者社会参加促進事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	障害者福祉サービス事業	障害者福祉サービス事業	障害者社会参加促進事業	障害者社会参加促進事業	第1層(全市)
収入(円)	市受託金	参加費			計
	300,000	9,000			309,000
支出(円)	事業費				計
	309,000				309,000
事業概要	地域の中で障害を持つ方が生活しやすいように社会参加を促進する事業の展開と、家族や関係機関・地域での障害理解が進み、権利擁護できるように事業を通じて働きかける				
事業計画	障害を持つ方や支援者等に対し、障害者自身のスキルアップと社会参加への促進を図る。家族へは障害理解や対応方法を学ぶ機会の提供、地域へは障害理解の啓発、障害者の後見等権利擁護に関する研修の実施。毎週月・水(13:00~17:00)たまり場(誰でも集える場)の開催。				
事業目標	誰もが安心して暮らせる地域づくり。イベント型から定期開催型へ移行し、生活に直接役立てていけるような取り組みを行う				
見込み成果	障害があっても自宅で住み続けられる地域づくりや社会参加の促進。気軽に外出できる場所の確保。親亡きあとも暮らし続けられるような生活スキルが身に着く				
R7振り返り (課題)	住み慣れた地域で自立した生活が送れるように本人・家族の思いに寄り添い、支援を行う。 地域で生活するためのスキルとして交通安全講習、ラジオ体操の基本をやってみた。交通安全講習では、自転車に乗る際のヘルメット着用の大切さや夜間に反射材を着けて自分を守ることを学び、外出時のズックに反射材を貼っている。ラジオ体操の体の動かし方を学んだ。来年に向けて、何をしたいのか参加者にアンケートを取り、令和8年度の事業の参考とした。				



(2100)勝山市社協成年後見センター「ささえ愛」事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業タイトル	事業展開範囲
	公益事業	成年後見事業	勝山市社協 法人後見事業	サポートセンター 「ささえ愛」	第1層(全市)
収入(円)	共同募金	事業収入	前期末繰越金		計
	150,000	2,500,000	790,000		3,440,000
支出(円)	人件費	事業費	事務費	パソコンリース料	退職積立金
	2,826,000	286,000	10,000	69,000	249,000
					計
					3,440,000
事業概要	様々な理由で判断ができない状況であっても、自分の地域で、いつまでも自分らしく安心して暮らしていくための支援				
事業計画	ささえ愛運営委員会の運営。日常生活自立支援事業利用者等を対象に相談や申し立て支援。法人後見人として受任を行う。また、職員の資質向上に努める				
事業目標	住み慣れた地域で、安心して暮らし続けるための支援を行う				
見込み成果	今後ますます本制度の利用が見込まれる。法人後見人としてささえ愛運営委員会で承認されれば、後見候補者として家庭裁判所に申し立てを行い、受任をしていく。後見報酬(収入)が見込めるケースもある。受任することで被後見人が今までの生活を大きく変化させることなく暮らし続けることができる				
R7振り返り (課題)	住み慣れた地域で自立した生活が送れるように本人・家族の思いに寄り添い、支援を行うことができた。研修等にも積極的に参加し、様々な問題を抱えたケースにも対応した。				



(2200)社協喫茶経営事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業タイトル	事業展開範囲
	公益事業	喫茶会計	喫茶会計	喫茶経営	第1層(全市)
収入(円)	売上金	受取利息	運用資産取崩し		計
	574,000	1,000	213,000		788,000
支出(円)	人件費	仕入れ	事業費	事務費	計
	330,000	326,000	115,000	17,000	788,000
事業概要	福祉健康センター「すこやか」利用者の憩いの場として飲食の提供を行う				
事業計画	利用者の憩いの場としての提供を続けているが、累積の赤字もあり、あり方の検討の結果に基づいて運営を行う。				
事業目標	適正価格と適正なメニュー数を設定することで収益につなげる				
見込み成果	適正価格を設定することで収益につながる				
R7振り返り (課題)	4回にわたり、喫茶在り方について委員会を開催し、企業診断士の助言を得ながら検討を重ねた。				



喫茶特製
「カレーライス」



「玉子丼」